

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

福島県 浅川町

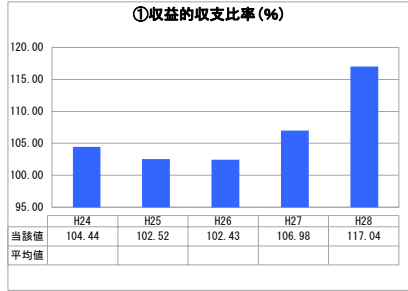
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	38.65	99.41	3,801

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,622	37.43	176.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,548	1.04	2,450.00

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



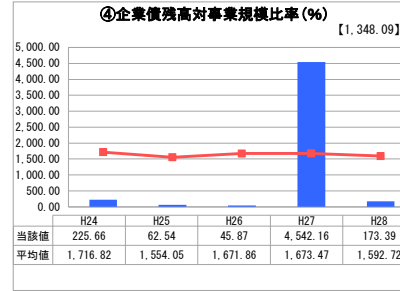
「単年度の収支」



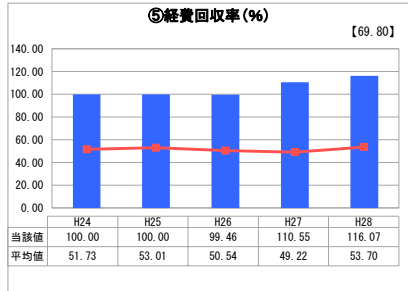
「累積欠損」



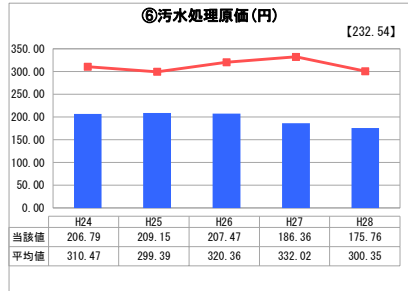
「支払能力」



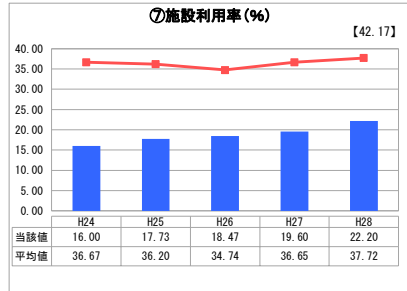
「債務残高」



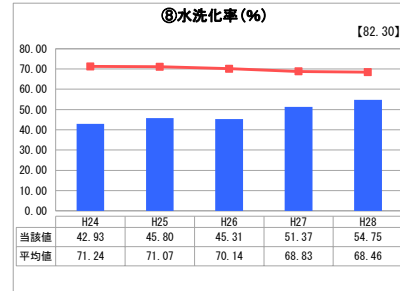
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

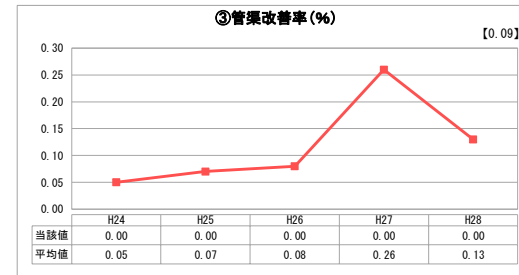
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率：H23年度以降100%を超える水準で推移しているため経営状況は健全である。  
 ④企業債残高対事業規模比率：H27年度は非常に高い数値となっているが、一般会計負担分を控除すると当該値が9.63となり、H28年度についても173.39と類似団体平均と比較して低い数値となっている。  
 ⑤経費回収率：概ね100%で推移しており経営状態は健全である。類似団体平均と比較しても高い数値となっている。  
 ⑦施設利用率：類似団体平均と比較して低い状況であるが、年々増加している。管路施設の整備が途中であるため、今後、更に増加する見込である。  
 ⑧水洗化率：類似団体平均と比較して低い状況であるが、年々増加している。管路施設の整備が途中であるため、今後、更に増加する見込である。

- ・収益的収支が100%を超えており経費回収率も100%を超えているため健全な経営ができていると思われる。
- ・汚水処理原価は類似団体平均値より低い数値となっているが、今後、老朽化等による維持管理費の増加に対応するため、接続率の向上による有収水量を増加させる取組が必要となる。

### 2. 老朽化の状況について

③管渠改善率：類似団体平均と比較して低い数値となっている。

- ・平成18年3月供用開始のため、比較的新しい施設ではあるが、供用開始から10年を過ぎたためポンプ等のオーバーホール時期となってきている。
- ・管渠は耐用年数を経過するものはないが、東日本大震災の影響を受けた管渠もあることから、定期的な点検・調査をする必要がある。

### 全体総括

- ・収益的収支が黒字とはなっているが、施設も供用開始から10年を経過し、今後、維持費等の増が見込まれるため、更に経費削減や施設利用率の向上が必要になる。
- ・処理区域の拡大については、今後の更新や修繕も考慮し、投資規模は適切か判断する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。